

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	11120	奥飛騨温泉郷観光施設 運営事業費	担当課	商工観光部 観光課	内線 2209
予算	会計	12 観光施設事業特別会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	
	款	1 総務費	分野	1 観光	
	項	1 総務管理費	基本施策	1 人々のこころを魅了する滞在型・通年型観光地づくりを行う	
	目	1 一般管理費	施策	3 観光関連施設の整備	
実施計画事業	観光施設運営事業、観光・交流施設維持修繕改修事業				
市長の約束	1	積極的な観光振興策を実施します。 ・国際的かつ福祉的観光都市として将来的に持続できる歴史、自然、文化、人情、食、技を中心とした観光基盤をさらに発展させ付加価値を高めます。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客	受益者数	163,582 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・大規模な駐車スペースによる観光客への利便性の提供をすることで、観光客の集客を図る(上高地・乗鞍岳含む)		
概要	事業の実施手法(手段)	あかんだな駐車場の管理運営		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① あかんだな駐車場営業日数			日	目標値	210	210	210
			実績値	207	206	210	-	
算出根拠等	実績表			達成率(%)	99	98	100	-
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②				目標値			
			実績値				-	
算出根拠等				達成率(%)				-
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① あかんだな駐車場利用者数			%	目標値	200,000	200,000	200,000
			実績値	162,986	163,582	-	-	
算出根拠等	実績表			達成率(%)	81	82	#VALUE!	-
コスト面	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①				目標値			
			実績値					
算出根拠等				達成率(%)				
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)				11,017	11,578	16,066	20,000
	受益者負担(使用料・負担金等)				11,017	11,578	16,066	20,000
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
コスト面	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①	受益者1件あたり(円)(A/B)			68	71	80	333
		受益者	あかんだな駐車場利用(円)(B)		162,986	163,582	200,000	60,000
	算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	大規模な駐車スペースを確保することにより、観光客の誘致が期待できるため、市長の年間観光客数目標の達成に結びつく。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	大規模な駐車スペースを確保することにより、奥飛騨温泉郷地域への誘客が図れることにより、ある程度の市民のニーズはあると考える。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	B	観光客だけでなく、市民で乗鞍岳や上高地に行く方も利用できるため、効果は概ね市民全体に及ぶと考える。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	B	営業日数も目標に対して高水準で実施できており、利用者数も増加しているため、概ね達成していると考えられる。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	あかんだな駐車場の利用者数も増加しているため、概ね達成していると考えられる。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	混雑時に事故が起こらぬよう車両整理等に細心の注意を払うなど改善・工夫に取り組んでいる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	維持修繕を行う際にも、緊急性・必要性を十分に考慮しながら実施している。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	A	実際の利用料金と比較しても適正である。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	投入コストに見合った成果が上がっているため、適正である。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		14.0 / 20.0	100点換算 → 70 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	借地部分の用地取得を視野に入れながら、成果対コストを更に向上させる。				
総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	(担当課評価に同じ)				
議会からの提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	15,410	19,603	4,193	15,998	15,998
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	15,410	19,603	4,193	15,998	15,998
一般財源					
予算要求の概要	・あかんだな駐車場の管理運営				
要求額増減理由	・施設の老朽化に伴う修繕工事費の増				
事業実施の課題	・借地部分の用地取得の検討				
財務部査定の考え方	積算内容を精査				
市長査定の考え方	財務部査定のとおり				

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	11125	飛騨高山スキー場 運営事業費		担当課	商工観光部 観光課		内線	2209
予算	会計	12	観光施設事業特別会計	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして		
	款	1	総務費	分野	1	観光		
	項	1	総務管理費	基本施策	1	人々のこころを魅了する滞在型・通年型観光地づくりを行う		
	目	1	一般管理費	施策	3	観光関連施設の整備		
実施計画事業	観光施設運営事業、観光・交流施設維持修繕改修事業							
市長の約束	1	積極的な観光振興策を実施します。 ・国際的かつ福祉的観光都市として将来的に持続できる歴史、自然、文化、人情、食、技を中心とした観光基盤をさらに発展させ付加価値を高めます。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	スキーヤー・スノーボーダー	受益者数	46,097 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	スキー場利用者数を増加させ、冬季の観光を振興する。		
概要	事業の実施手法(手段)	飛騨高山スキー場の管理運営		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	① 飛騨高山スキー場営業日数	日	指標名				H21	H22	H23見込	H24計画
			目標・実績	H21	H22	H23見込				
	算出根拠等	高山3スキー場合同連絡会議資料	達成率(%)	85	86	100	-			
成果指標	②		指標名				H21	H22	H23見込	H24計画
			目標・実績	H21	H22	H23見込				
	算出根拠等		達成率(%)							
成果指標	① 飛騨高山スキー場の年間利用者数	人	指標名				H21	H22	H23見込	H24計画
			目標・実績	H21	H22	H23見込				
	算出根拠等	高山3スキー場合同連絡会議資料	達成率(%)	98	92	#VALUE!	-			
コスト面	①	受益者1件あたり(円)	指標名				H21	H22	H23見込	H24計画
			目標・実績	H21	H22	H23見込				
	算出根拠等	飛騨高山スキー場の年間利用者 (B)	49,095	46,097	50,000					
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額				
	歳出(千円)(A)		65,057	75,453	74,715	80,000				
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)		50,417	45,232	60,076	80,000				
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		14,640	30,221	14,639					
コスト面 <th colspan="2">一般財源</th> <td colspan="4"></td> <td colspan="4"></td>	一般財源									
	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画				
コスト面 <th rowspan="2">①</th> <th rowspan="2">受益者</th> <td colspan="2">受益者1件あたり(円)(A/B)</td> <td>1,325</td> <td>1,637</td> <td>1,494</td> <td>#DIV/0!</td> <td colspan="2"></td>	①	受益者	受益者1件あたり(円)(A/B)		1,325	1,637	1,494	#DIV/0!		
			受益者 飛騨高山スキー場の年間利用者 (B)		49,095	46,097	50,000			
	算出根拠等									

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	スキー場利用客は、冬季における観光客の主要部分を占めているため、市長公約の目標達成に結びつく。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	C	飛騨高山スキー場は、市民も利用ができるため、毎年ある程度のニーズはある。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	C	スキー場利用者に限られるが、誰でもスキー場を利用できるため、概ね市民全体に効果が及ぶと考える。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	B	営業日数も概ね目標に達しており、年間利用者数も約5万人規模で推移しているため、概ね達成しているものとする。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	パンフレット及びポスターを製作・配布したり、各メディアにて情報を発信することで、ある程度利用者数を維持できているため、概ね有効であるとする。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	安全・安心な施設運営のための索道施設の修繕など改善・工夫に取り組んでいる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	パンフレットの発行部数を減らすなどしてコストを削減するなど改善・工夫に取り組んでいる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	A	スキー場の料金と比較してみても、適正であるとする。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	B	投入コストに見合った成果が上がっているため、適正である。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		10.0 / 20.0	100点換算 → 50 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	積極的な宣伝活動による新規のスキー場利用者を確保するだけでなく、利用者満足度を向上させることでリピーター層を増やす。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・市営3スキー場の今後の運営方針を早期に定める必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	74,715	117,699	42,984	69,637	69,637
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	74,715	117,699	42,984	69,637	69,637
一般財源					

予算要求の概要	乗鞍高原飛騨高山スキー場の管理運営
要求額増減理由	・施設の老朽化に伴う修繕工事費の増 ・老朽化した備品の更新に伴う増
事業実施の課題	・老朽化した施設の計画的な維持修繕 ・若年層を取り込むための誘客宣伝の展開 ・来場者の利便性向上に資する付属関連施設の運営方法の検討

財務部査定の考え方	積算内容を精査 リフト施設の改修は優先順位の高い整備を実施
市長査定の考え方	財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	11130	観光施設一般管理事務費	担当課	商工観光部 観光課	内線	2209
予算	会計	12	観光施設事業特別会計	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして
	款	1	総務費	分野	1	観光
	項	1	総務管理費	基本施策	1	人々のこころを魅了する滞在型・通年型観光地づくりを行う
	目	1	一般管理費	施策	3	観光関連施設の整備
実施計画事業						
市長の約束	1	積極的な観光振興策を実施します。 ・国際的かつ福祉的観光都市として将来的に持続できる歴史、自然、文化、人情、食、技を中心とした観光基盤をさらに発展させ付加価値を高めます。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客(あかんだな駐車場及び飛騨高山スキー場利用者)	受益者数	209,679 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	・大規模な駐車スペースによる観光客への利便性の提供をすることで、観光客の集客を図る(上高地・乗鞍岳含む) ・スキー場利用者数を増加させ、冬季の観光を振興する。		
概要	事業の実施手法(手段)	あかんだな駐車場の管理運営 飛騨高山スキー場の管理運営		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① あかんだな駐車場営業日数	算出根拠等	実績表	達成率(%)	99	98	100	-
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22
② 飛騨高山スキー場営業日数	算出根拠等	高山3スキー場合同連絡会議資料	達成率(%)	85	86	100	-
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22
① あかんだな駐車場利用者数	算出根拠等	実績表	達成率(%)	81	82	#VALUE!	-
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22
② 飛騨高山スキー場の年間利用者数	算出根拠等	高山3スキー場合同連絡会議資料	達成率(%)	98	92	#VALUE!	-
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)					2,660	
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					2,660	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト指標	一般財源						
	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画
①	受益者1件あたり(円)(A/B)					11	
	受益者2施設利用者(B)					250,000	
②							
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など	
	A(2)	B(1)			
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	評価対象外	あかんだな駐車場及び飛騨高山スキー場の営業に伴う消費税等のため	
	B(1)	一部結びつく			
	C(0)	結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	評価対象外	あかんだな駐車場及び飛騨高山スキー場の営業に伴う消費税等のため	
	B(1)	ある程度のニーズがある			
	C(0)	少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	評価対象外	あかんだな駐車場及び飛騨高山スキー場の営業に伴う消費税等のため	
	B(1)	概ね市民全体におよぶ			
	C(0)	わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	評価対象外	あかんだな駐車場及び飛騨高山スキー場の営業に伴う消費税等のため	
	B(1)	概ね達成している (75%以上)			
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	評価対象外	あかんだな駐車場及び飛騨高山スキー場の営業に伴う消費税等のため	
	B(1)	概ね有効である			
	C(0)	見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	評価対象外	あかんだな駐車場及び飛騨高山スキー場の営業に伴う消費税等のため	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	評価対象外	あかんだな駐車場及び飛騨高山スキー場の営業に伴う消費税等のため	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	評価対象外	あかんだな駐車場及び飛騨高山スキー場の営業に伴う消費税等のため	
	B(1)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	評価対象外	あかんだな駐車場及び飛騨高山スキー場の営業に伴う消費税等のため	
	B(2)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
合計		0.0 / 0.0	100点換算		#### / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
議会からの提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	2,660	971	△ 1,689	1,510	1,510
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	2,660	971	△ 1,689	1,510	1,510
一般財源					

予算要求の概要	・あかんだな駐車場及び飛騨高山スキー場の営業に伴う消費税等
要求額増減理由	消費税の減
事業実施の課題	

財務部査定の考え方	積算内容を精査
市長査定の考え方	財務部査定のとおり